

児童デイサービス月のひかり 令和2年度放課後デイサービス評価表等集計結果の公表について

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「児童デイサービス月のひかり」において「事業者向け自己評価表」並びに「保護者等向け評価表」による評価を実施いたしましたので、その集計結果について公表いたします。

評価結果を踏まえ、今後も皆様にご満足いただけるサービスの提供に努めて参ります。

月のひかりでは、今回のアンケートに限らず、ご意見ご要望がありましたら、いつでも気軽にお寄せ頂ければ幸いです。

アンケートにご協力頂いた保護者の皆様ありがとうございました。

令和3年2月

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 25 日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|------|------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 92% | 8% | ・4室ある個室を効果的に活用しています。 ・過敏なお子さんのための環境が少ないので、個室やパーティションを使って工夫しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 75% | 25% | ・前年度より専門職を増やして、少人数でも効果的な支援を目指しています。 ・慢性的な人員不足ですが、効率よく業務を行えるような体制を考えていきます。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 67% | 33% | ・二階建て、段差階段があります。危険な場所では見守りをしていきます。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 92% | 8% | ・常に、振り返りと、業務の確認を行っています。 ・業務改善について話し合いの場を多く設けています。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | ・今年度は未実施ですが、事業所独自のアンケートを実施し具体的な要望等を反映できる機会をつくっていきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | ・法人HPで公開しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0% | 100% | ・第三者評価未実施なので、法人として体制が取れるようにしていきます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 92% | 8% | ・事業所内研修の充実を図りました。 ・今年度は外部研修は少なかったが事業所内研修の機会を増やしました。「意思決定について」と「虐待防止について」を実施しました。 ・オンライン研修等へは可能な限り参加していきます。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | ・過去の情報を適宜に更新していきます。 ・今年度力を入れた点です。最新の情報を把握し支援に活かしていきます。ご家族のご協力をお願いします。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 92% | 8% | ・アセスメント質を上げるためにも、必要に応じて内容を見直していきます。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 92% | 8% | ・チームアプローチを大切に行っています。 ・月班、ぶる班合同で常に検討しています。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 75% | 25% | ・天候が悪くても外活動が出来るように工夫しています。 ・固定化せざる得ない場面が多いので、継続して検討していきます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 75% | 25% | ・長期休暇のプログラムは、年間計画及び担当制をとり詳細を検討し立案しています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | ・お子さんの特性に合わせた活動を検討し、計画に反映しています。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | ・必ず実施しています。また、個別の最近の状況も確認しています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 92% | 8% | ・帰り送迎後に必ず当日の振り返りを行っています。また、当日にあったヒヤリハットも合わせて確認しています。 |

| | | | | | |
|--------------|----|---|------|-----|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 92% | 8% | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | ・お子さんに合わせて適宜に実施していきます。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 83% | 17% | ・月班、ふる班の児童交流を大切にしています。 ・学校や家庭で体験できない事を提供できるように支援しています。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | 0% | ・事業所で必要を感じた時は、相談事業所へ開催の依頼をしています。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 92% | 8% | ・共通課題は積極的に情報交換しています。 ・学校での生活の状況、学習の状況を積極的に情報収集を行っています。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 0% | 0% | ・現在、対象児がいません。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 58% | 42% | ・ご家族からの聞き取りのみになってはいますが、必要であればご家族了解の上共有していきます。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 75% | 25% | ・今までは移行会議の席に放デイが参加する事はありませんでした。 ・移行会議の席に、参加できるように相談支援事業所をお願いしています。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 42% | 58% | ・主催の研修会には積極的に参加しています。 ・残念ですがセンターの発信情報が少ないと感じています。 |
| 保護者への | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 25% | 75% | ・地域の社会資源を活用できるようにしています。 ・地域の公園での活動で一緒に遊ぶ機会があります。 ・地区公民館行事に参加を企画しましたが、事業所としての参加は断られました。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 100% | 0% | ・協議会を活用する意識を持っています。 ・児童発達部会へ積極的に参加します。 ・地域課題を部会を通じて提言していきます。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | ・必要に応じて個別に相談に応じています。 ・事業所の目標として、家族支援を大きな柱としています。ご家族の安定はお子さんの成長に大きく影響を与えるので丁寧に行っています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 50% | 50% | ・トレーニングとしては実施していませんが、保護者の方々が地域の情勢を理解できるような情報提供をしていきます。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | 0% | |
| 保護者への | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | 0% | ・今後計画的にタイムリーに対応できるような相談体制をつくっていきます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 33% | 67% | ・今年度は実施できませんでしたが、懇親会や勉強会を企画実施していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0% | ・意見や苦情を言いやすい関係性を作っていきます。 ・苦情の背景を考察し早期に改善できるようにしていきます。 |

| | | | | | |
|---------|----|--|------|-----|---|
| 説明責任等 | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・月一回のデイだよりの発行 ・長期休みの時の活動予定配布 ・保護者向けの不定期会報の発行 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 100% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・写真等の取り扱いについて、公開していい範囲を確認し慎重に行っています。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 92% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の特性に配慮したツールを検討していきます。 ・お子さんに合ったコミュニケーションツールを検討していきます。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 17% | 83% | <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき100歳体操の実施、地域の高齢者へ体操の機会と場を提供しています。今年度はコロナ対応で未実施です。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 92% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方へ周知不足なので今後周知していきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | 0% | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 92% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・虐待とはなにかについて、事業所内研修を実施しています。また権利擁護委員会が定期的に職員へチェック表で振り返りをしています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 100% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要な状況になった場合は、定められた手順に従い行う判断をします。 ・身体拘束等を行わない為に支援の質を向上させます。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 100% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・指示書や家族からの情報に沿って対応させていただきます。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 92% | 8% | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった日はその日に原因や予防について話し合っています。 ・事例集までは作成していませんが、記録は詳細にとっています。 |

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 25日

事業所名 児童デイサービス月のひかり 保護者等数(児童数) 58 回収数 44 割合 75 %

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|----------------|--|-----|---------------|-----|-------|------------------------------------|--|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 91% | 9% | | | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 89% | 4% | 2% | 5% | ・現場の状況がわからない。 | ・配置状況の説明や実際の支援の様子を見ていただく機会をつくります。 |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 93% | 2% | 0% | 5% | ・建物内部の詳細がわからない。 | ・建物を見ていただく機会をつくります。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 93% | 5% | 0% | 2% | ・考えて作成されている。 | ・モニタリングも含め発達段階に合った計画を作成していきます。 |
| | 5 | 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 82% | 13% | 0% | 5% | | ・お子さんの特性に合わせたプログラムを検討していきます。 |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 18% | 39% | 11% | 32% | ・必要があるか疑問 ・今はコロナ禍で難しい ・分からない | ・普段の活動の中で、自然に交流できる機会もつくっていきます。 |
| 保護者 への 説明等 | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 98% | 2% | 0% | 0% | | ・一部更新されていない部分がありました。変更があるたびに丁寧に説明していきます。 |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 95% | 5% | 0% | 0% | | ・最新のアセスメント情報を得るため協力をお願いします。 |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 98% | 2% | 0% | 0% | | ・今後は計画的に相談の機会を設けていきます。 |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 43% | 43% | 5% | 9% | ・コロナ禍が落ち着いたら懇談会を再開してほしい。 | ・コロナ禍で開催出来なかった勉強会懇談会等を状況みて再開していきます。 |
| | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 80% | 11% | 0% | 9% | | ・普段から、伝えやすい関係性、雰囲気大切にしていきます。また、苦情に対しては迅速に丁寧に対応してまいります。 |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 93% | 5% | 0% | 2% | | |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 90% | 5% | 0% | 5% | | ・行っていますが、更に充実するようにします。 |
| 14 | 個人情報に十分注意しているか | 89% | 6% | 0% | 5% | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|------|-----|----|-----|---------------|---------------------------------|
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 77% | 16% | 0% | 7% | ・緊急時の対策が分からない | ・緊急時等の対応をわかりやすくお知らせしていきます。 |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 61% | 12% | 0% | 27% | | ・訓練は実施していますが、お便り等で様子をお知らせいたします。 |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・毎日楽しみにしている。 | ・これからも児童期の意思形成支援を大切にしていきます。 |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・満足している。 | ・どんな意見も出して頂けるよう努力していきます。 |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。